

# PTA だより

KAKAMIHARA HIGH SCHOOL / General Course, Science and Mathematics Course, English Course



▲ 4月28日 PTA総会

## チーム各務原



PTA会長  
高橋 昌嗣

平成二十八年度PTA会長を務めさせていただきます高橋です。日頃より本校PTA活動にご理解とお力添えをいただき、感謝申し上げます。一年間、よろしくお願いたします。

昨年度、サッカー部が全国大会に出場しベスト16と素晴らしい成績を収めました。また、今年度は、放送部が全国大会に出場します。県立の普通科校でこんなに部活動が盛んな学校は多くないと思います。今年度も、皆様とともに子ども達の頑張る姿を応援していきたいと思えます。

総会に始まり先月行われた校外研修には、多くの方に参加いただきありがとうございました。今年度も、PTA活動を一層充実させていきたいと考えております。九月の新生祭では、恒例となりましたカレーバザーを行います。役員全員がお揃いのエプロンをつけて実施します。また、九月三十日のPTA研修会では、二〇一四年にドラマ化された

「全盲の僕が弁護士になった理由」の著者である大胡田誠先生をお招きし、今年度初めての試みとして、保護者と生徒が一緒に研修会を行います。

昨年度初めて、生徒会の皆さんとPTA役員合同でスマートフォンに関する情報交換と懇談会を開きました。問題点として、平均利用時間が長時間になっていることが分かりました。子どもたちの側からの前向きな改善案もあり、有意義な懇談会でした。

高校生になるとスマートフォンを持ち、行動範囲も広がります。また、卒業後の進路選択に向けた目標の設定等、私達保護者の心配事も多くなります。しかし、先生方と話をしていると、子ども達は自分の進路や将来に、立派なビジョンをもっていると感じます。

子ども達がこの各務原高校で人として大切なことを学び、大きく成長してくれるよう、先生・生徒・保護者が「チーム各務原」として一丸となり、学校生活、部活動がより充実したものとなるよう盛り上げていきましょう。

今年度も、各務原高校PTA活動にご理解と、お力添えをよろしくお願いたします。



# 大人になるために



校長  
杉原 整

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に格別のご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。四月には新一年生三二二名が加わり、全校生徒八九六名の皆さんが明るい挨拶で始業を迎え、活気に満ちた高校生活を送っています。徒歩や自転車通学、「ふれあいバス」等を利用し、自分の力で登下校する生徒の皆さんが増えました。天気の良い朝、自家用車での登校は五〇台前後、雨天でも二〇〇台を超えていることはなくなりました。日々たくましさを増していく生徒の成長を喜ぶとともに、保護者の皆様のご理解とご協力を厚く感謝申し上げます。

「ジャパンを応援しよう！」(イオンモール各務原で開催)で、日本代表にエールを送り、「第二十六回定期演奏会」では、期待通りの演奏を披露しました。県放送コンテストアナウンス部門では、長谷川侑由さんが一位となり、全国大会出場を決めました。また、岐阜県高校野球開会式の司会を立派に務めました。こうした成果の土台となる生徒ひとりひとりの努力と向上心は、本校部活動のもっとも誇るべきところだと思います。

五月に始まったインターハイ岐阜県予選では、剣道部個人五位(東海総体出場)をはじめ、サッカー部、ラグビー部の上位入賞、男子テニス部団体・個人、女子ハンドボール部のベスト8など、これまでの練習の成果を十分発揮することにも、さらなる向上を約束する成果を取めました。文化系部活動では、囲碁部が男子団体・女子団体ともに二位、男子個人で三位に入賞しました。吹奏楽部は、女子ホッケー日本代表チーム「たいく



英語科プレゼンテーション(P.T.A総会)

高等学校は言うまでもなく、「確かな学力」と「豊かな人間性」を身につける最終ステージです。三年間という限られた時間の中で、様々な活動に参加し、仲間と切磋琢磨し、次のステージで活躍する自分の将来像を描きながら、「たくましく生き抜く力」を養っていきます。その土台となるのが「良い習慣」です。「良い習慣」には「良い生活習慣」と「良い学習習慣」があります。この二つの習慣が身につく、はじめて「確かな学力」と「豊かな人間性」を身につけることができます。七月十日(日)には、十八歳選挙権を行使する生徒の姿がありました。国政に参加するに足りる人間力を身につけているかどうか、今問われています。

語検定に代表される各種検定試験、理数科や英語科の寺子屋事業、スピーチコンテストやディベートコンテスト等々、数多くの活動に生徒の皆さんの参加を待っています。これらの積み重ねが、生徒の皆さんひとりひとりの夢や希望の実現につながっていきます。

結びに、私たち職員一同は、生徒の皆さんと夢や希望を共有し、「夢や希望を実現する」という強い思いを胸に、日々邁進してまいります。社会で役立つ人間力を醸成してまいります。保護者の皆様の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

## 将来求められる「人間性」のため、土台となる学力の向上を



教務主任  
立川 茂

私たち各務原高校の教訓の一つに「協同」という言葉があります。その「協同」が社会で生きていくためとても大切なものであると言われています。特に、それにつながる「人間性」の育成が、今の教育の現場での教育指導の重点として掲げられています。その「人間性」を支える土台となる学力(知識・技能)の向上が、重要な課題であると考えています。

先日の土曜日、土砂降りの雨が上がり気持ちのよい風が吹く日に、部活動の準備のため校舎に道具を取りに行く、三年生の生徒が一人黙々と受験勉強をしています。

高校では学年が上がること、その時点で付けておくべき学力があります。今回の生徒のように、あるきっかけで、自分の学力と真つすべ向き合ったとき、取り組むべき明確な課題がみえてきます。自己の課題に必死に取り組む三年生、そして新しい勉強方法を見つけた二年生。そんな生徒を応援し、成長をサポートするのが周りの役目です。学力の向上を課題とし、「人間性」を支える土台を作れるよう職員一同全力で取り組んでまいります。学校と家庭が協力して生徒一人一人の夢が叶えられるよう保護者の皆様におかれましてはご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。



# 本校の生徒指導の方針と重点



生徒指導部

浅見 和人

本校はここ数年、次の三つを生徒指導の重点にしています。生徒の皆さんにも目標を持っていただき、人格を向上させることができるよう、意識して生活してほしいと思います。

①集団生活における基本的な生活習慣を身につける。②自他の生命を尊重し、危険を未然に防ぐ能力を身につける。③規範意識を育て、ルール・マナーを守る。

規則正しい生活の第一歩は、時間を意識した行動です。余裕のある登校から始まる一泊で、学習や部活動を充実させてくれることを願っています。さて、今年の始業から五月末までの遅刻が四回以上の生徒は一年生が該当者なしで、二・三年生も数名の状況です。ほとんどの生徒が八時三〇分からの朝読書に間に合うように早く登校してきており、御家庭の御協力をいただき本当にありがとうございます。六月に入り、気候の変化のためか体調を崩して遅刻をする生徒もみられるようになりました。御家庭での生活の様子で気になることがあれば、担任や教育相談の係などへ気軽に相談ください。

生命の尊重と危険防止に関しては、四月に日本自動車連盟から大橋義典様を招き、交通講話を実施しました。また六月には各務原警察署から瀧瀬英一交通課長様を招

き、第一回ワンポイント交通講話を実施し、今後も機会があるごとに実施をする予定です。今年度も登校指導に加えて下校指導を計画的に実施し、交通安全に力を入れて取り組んでいます。しかし、四月は自損事故を含め四件の交通事故があり、五月にも三件起きています。本人と相手のどちらが悪くても、大きな事故となれば、取り返しがつきません。細心の注意をして、事故に巻き込まれないようにすることが必要です。また各務原市内でも不審者情報も多く寄せられています。まずは、身の安全、警察への通報に心掛け、被害に遭わないように気をつけてください。また、一年生に対して、携帯電話等に関するトラブルを未然に防ぐために情報セキュリティに関する研修を実施しました。

高校生活は学力・体力だけでなく、社会で活躍するための感性や人となりを磨く大切な三年間です。クラスや部活動での生活を通して、仲間と共に、社会で認められるルール・マナーを身につけてくれることを願っています。

学校での出来事は、御家庭で話題になっていますでしょうか。連絡プリントはいつも届いているでしょうか。

普段はなかなか余裕がないかもしれませんが、夏休みにはぜひ学校のことを話題にしたいと思います。



交通安全講話

# PTA校外研修



PTA副会長

佐藤 正

本年度の校外研修は、名古屋市内八事にある中京大学、南山大学の見学で計画したところ、昨年より多い四十八名にご参加いただき、ほぼ満席の状態で行ってまいりました。

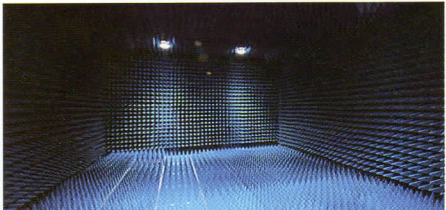
中京大学では、今年度、豊田キャンパスから移転した工学部を中心に見学しました。宇宙空間を再現して人工衛星等の耐久性を試験する装置や、電波暗室と呼ばれる通信機器の電波を測定する部屋といった、最先端の設備も見せていただき、新しい設備が並ぶ充実した環境で学習できることが感じられました。その後図書館や英会話教室を見学し、大学側の説明をお聞きしました。色々な施設をガラス張りにし、中で頑張っている仲間の姿を見せることで、「気持ち」「やる気」を促したいという大学の方針を強調されていました。昼食は、学食でボリュームある美味しい料理を「コインでいただくことができました。

南山大学では、始めに大学側の説明を受け、その後、学生から大学生活について話を聞きました。大学では「国境なき学びの場」を実現するために英語で授業を行うなど、様々な取り組みがされていました。そのため学生の留学に対する意識も高く、全学部で盛んに留学が行われているようでした。また、校内にワールドプラザと呼ば

る日本語禁止の施設があり、時間割に合わせて数々の言語が話され、バーチャル留学を体験できるようになっていました。私たちが案内してくれた学生さんもこの夏から留学することになるので、近々ワールドプラザデビューをする話してくれました。

今回の校外研修が、私にとって最後の機会となりました。これまでの五年間、延べ一〇〇大学を見学させていただきました。それぞれ特長があつて、毎回新しい気付きがあり、子どもと向き合う上で大変役に立ちました。一、二年生の保護者の皆様の中には、まだ先の話とと思っている方も多いと思いますが、早い段階で大学の現状に触れていただき理解することが大切だと思います。この校外研修を利用いただき、会話を通して少しでもお子様の興味が深まれば、未来も変わってくるのではないかと思います。来年度のより多くのご参加をお待ちしています。

中京大学 工学部施設 電波暗室



南山大学





遠足  
5月12日(木)



1年生  
高山市内散策



2年生  
同志社大学見学



3年生  
大学見学

6月21日(火)  
~24日(金)

アメリカ セリトス市 高校生交流団 来校





平成28年度

# 各務原高等学校部活動の成績

(平成28年4月～5月 県大会ベスト8以上)

## ■体育系

部 名	成 績 内 容 等
サッカー部	全国・東海高校総体岐阜県予選 3位
ラグビーフットボール部	全国・東海高校総体岐阜県予選 4位
ハンドボール部	全国・東海高校総体岐阜県予選 ベスト8
硬式テニス部	全国・東海高校総体岐阜県予選 団体 ベスト8
	全国・東海高校総体岐阜県予選 個人S 山本 高輔 ベスト8
	全日本ジュニア 県予選 U16 D 金成 昌志・加藤 光太朗 ベスト8
	全日本ジュニア 県予選 U18 D 山本 高輔・青山 稜 ベスト8
弓道部	全国・東海高校総体岐阜県予選 女子個人 篠原 彩音 7位
剣道部	全国・東海高校総体岐阜県予選 男子個人 5位 有嶋 督 (東海大会出場)
水泳部	全国・東海高校総体岐阜県予選 女子 400m個人メドレー 5位 小林 永奈
	全国・東海高校総体岐阜県予選 女子 100m自由形 6位 小林 永奈
	全国・東海高校総体岐阜県予選 女子 200m平泳ぎ 8位 田中 百花
	(いずれも東海大会出場)

## ■文化系

部 名	成 績 内 容 等
放送部	第51回岐阜県高等学校放送コンテスト アナウンス部門 1位 長谷川 侑由 (第63回NHK杯全国高校放送コンテスト出場)
囲碁部	第40回全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 2位
	第40回全国高校囲碁選手権岐阜県大会 女子団体 2位
	第40回全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子個人 3位 若林 潤

## ■特別

部 名	成 績 内 容 等
レスリング	全国・東海高校総体岐阜県予選 階級別フリースタイル 1位 福永 栞里 (全国高等学校女子レスリング選手権大会出場)



## 被災地へ 心をつなぐ 熊本募金



PTA総会における募金活動



生徒会による募金活動



サッカー部 街頭募金活動



# 二〇一六年度 入試報告



進路指導主事  
森下 範子

## ◎二〇一六年度入試について

全国の概況として、二〇一六年度入試は、センター試験の志願者数が、五六三、七八八人と昨年から大きな変化はなく、受験率は過去最高の九五・一％となりました。今年で全教科が新課程に全面移行することになりました。また、英語外部試験を利用する入試が拡大したことや、学部再編の動きが数多くあったことがトピックとして挙げられます。学部系統の人気としては、昨春入試からの「文高理低」が継続しており、文系学部で志願者の増加が目立ちました。

さて、本校では九割以上の生徒が地元 학교に進学し、七割以上の生徒が推薦やAO入試を利用しています。一方、今年の卒業生は例年以上に高く目標を掲げ、各務原高校生らしく、最後まで粘り強く一般入試に挑戦し続けました。個別指導や特別補習により、進路指導室の問題集をことごとく解き尽くし、新たに教員が書店に購入に走るなど、本人たちが納得のいく頑張りを見せてくれ、職員一同誇りに思っております。

早期中退や離職を避けるためにも、第一

志望の学校を最後まで目指す指導を続けたいと考えております。進学後も、頼れるホームとして繋がり続け、適宜アドバイスしております。

今年度はさらに、低学年からの指導を充実させるべく、土曜補習を全学年で展開しております。今後も満足度の高い充実した指導をして参りたいと考えております。

## ◎進路指導の方針と重点

進路指導部は、「主体的に進路を選択できる能力や態度を育て、進路実現のための積極的取り組みを支援する。」を基本方針とし、以下の三点を重点としております。

①生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、高校卒業後も見通した、三年間の全体計画、年間指導計画を改善し、計画的、組織的な進路指導体制を確立する。

②一人一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるよう、情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンス機能を充実する。

③生徒が自ら希望する進路を実現できるよう、「生きる力」の礎となる確かな学力を身に付けるための指導を充実する。



サイエンスワールド研修 (理数科)

## ◎平成27年度卒業生 入試合格者数

		普通科	理数科	英語科	合計
四大	国公立	3	1	1	5
	私立	166	29	23	218
短大	国公立	3	0	6	9
	私立	17	3	4	24
専門学校	看護	7	0	3	10
	その他	21	5	5	31
合計		217	38	42	297

## ◎国立大学の合格者数

- 室蘭工業大(1)
- 信州大(1)
- 岡山大(1)
- 前橋工科大(1)
- 愛知県立大(1)

## ◎主な私立大学の合格者数

- 〈全国〉
- 大正大(1) 拓殖大(1) 東海大(1)
- 東京福祉大(1) 東京工科大(3)
- 日本大(2) 明治大(2)
- 山梨学院大(1) 新潟医療福祉大(1)
- 京大外語大(1) 京都造形芸大(2)
- 関西大(2) 関西外語大(1)
- 大阪成蹊大(1) 同志社大(1)
- 龍谷大(1) など

## 〈東海〉

- 朝日大(4) 岐阜医療科学大(7)
- 岐阜経済大(2) 岐阜女子大(2)
- 岐阜聖徳学園大(12) 中部学院大(14)
- 東海学院大(2) 愛知大(6)
- 愛知学院大(17) 愛知学泉大(1)
- 愛知工科大(1) 愛知工業大(4)
- 愛知産業大(1) 愛知淑徳大(7)
- 愛知東邦大(1) 金城学院大(4)
- 至学館大(2) 椋山学院大(2)
- 大同大(3) 中京大(17) 中部大(19)
- 東海学園大(4) 名古屋音楽大(1)
- 名古屋外大(7) 名古屋学院大(15)
- 名古屋学芸大(4) 名古屋芸術大(3)
- 名古屋造形大(1) 名古屋商科大(4)
- 名古屋女子大(1) 名古屋文理大(2)
- 豊橋創造大(1) 日赤豊田看護大(1)
- 南山大(3) 日本福祉大(3)
- 名城大(16) など

## ◎主な短大・専門学校の合格者数

- 岐阜市立女子短(9) 大垣女子短(2)
- 岐阜保健短(1) 岐阜聖徳学園大短(4)
- 中部学院大短(1) 平成医療短(5)
- 愛知きわみ看護短(1) 愛知学院大短(1)
- 至学館大短(2) 修文大短(2)
- 名古屋経済短(1) 名古屋文化短(1)
- 東海職能大(1) 岐阜県立衛生専(3)
- 岐阜市立看護専(3)
- 一宮市立中央看護専(2)
- 岐阜市医師会准看護専(1)
- 朝日大学歯科衛生専(2)
- 愛知総合看護福祉専(1) 愛北看護専(1)
- 尾北看護専(2) 中日美容専(2)
- 中日航空専(2) 愛知調理専(2) など







## 放送部の活動を通して



顧問  
水谷 佳世

本校放送部の顧問となり、早二カ月が経とうとしています。私自身も高校三年間を放送部で活動していたため、指導者として放送部に関わることができ、感慨深く思いながら日々部活動に携わっています。

放送部では、主に年二回開催される大会に向けて準備・練習に取り組んでいます。放送部の大会には、自ら作成した原稿をもとに校内の出来事を伝えるアナウンス部門や、課題作品を読む朗読部門があります。どちらの部門も日頃から私たちが何気なく使っている「言葉」のひとつひとつに注目してアクセントや意味を、朗読部門であれば作者の表現を正しく伝えることを最も意識しています。

この二つの部門はいわば個人戦ですが、団体戦として番組制作部門もあります。映像を主体としたテレビ番組の制作と音声为主体としたラジオ番組の制作です。番組制作は、部員一人一人のアイデアと働きが必要です。地域や学校生活の中で気になることを見つければ、それを話し合いによって深めて

いことが作品づくりの第一段階です。番組の方針が固まったら、次は撮影やインタビュー。撮影機器の取り扱いや取材の許諾は生徒が自分たちで行います。そして最後に、編集作業。パソコンに詳しい生徒によって番組に命を吹き込みます。それだけに、完成した番組を提出する際には、取材を快く受けてくださった方々や制作した生徒の熱い思いが込められていますから、私自身も緊張して作品を送り出します。

去る六月四日、今年度最初の大会である県高等学校放送コンテストが行われました。番組制作に携わった生徒、アナウンスや朗読部門で参加する生徒それぞれが思いを込めて臨んだ大会でした。この大会では、アナウンス部門において、一位をいただき、七月下旬に東京にて行われる「NHK杯全国高校放送コンテスト」に出場が決定しました。

秋に行われる新人大会では一年生も加わった新体制で臨みます。アナウンスだけでなく、朗読部門や番組部門でも生徒の練習が發揮されるように既に動き出しています。また、校内の行事でも司会や動画制作を任せていただくなど活躍の場も増えてきています。部員それぞれが自身の興味のあることに打ち込める部活動であるよう指導に努めてまいります。保護者の皆様、そして先生方の日頃からのご支援に深く感謝

申し上げます。今後共々どうぞよろしくお願いたします。



## 放送部の活動紹介とこれから

部長 三年六組 長谷川 侑由

放送部は火曜・水曜・金曜の放課後に活動しています。部員全員で発声練習をし、その後はそれぞれの部門ごとに練習や話し合いを行います。六月にあった「NHK杯全国高校放送コンテスト 岐阜県大会」では、アナウンス部門、朗読部門、創作ラジオドラマ部門、テレビドキュメント部門に出場しました。最後の大会であった三年生も、初めて出場した一、二年生も充実した良い経験となりました。

私は今大会でアナウンス部門に出場しました。制服の着方についての原稿を作成しました。生徒指導部の浅見先生のお話をもとに「制服を正しく着て過ごそう」をコンセプトにした原稿です。アナウンス部門はこのように学校内で放送できる題材を用

意し競い合うものです。この部門で最も大切なのが、「何を第三者に伝えたいのか」ということです。私は、発表をして自分の伝えたいことが伝えられるように読むことができた満足しています。

これからの放送部は、核であった三年生が抜け、新しいメンバーでのスタートです。私が入部した頃に比べ、現在はより活発に活動しています。作品を通して何を伝えたいかを忘れずに、部員の今後の活動に期待したいです。私自身は、後輩に伝えたいことは全て伝えたので、これから後輩たちに頑張ってもらいたいと思います。

